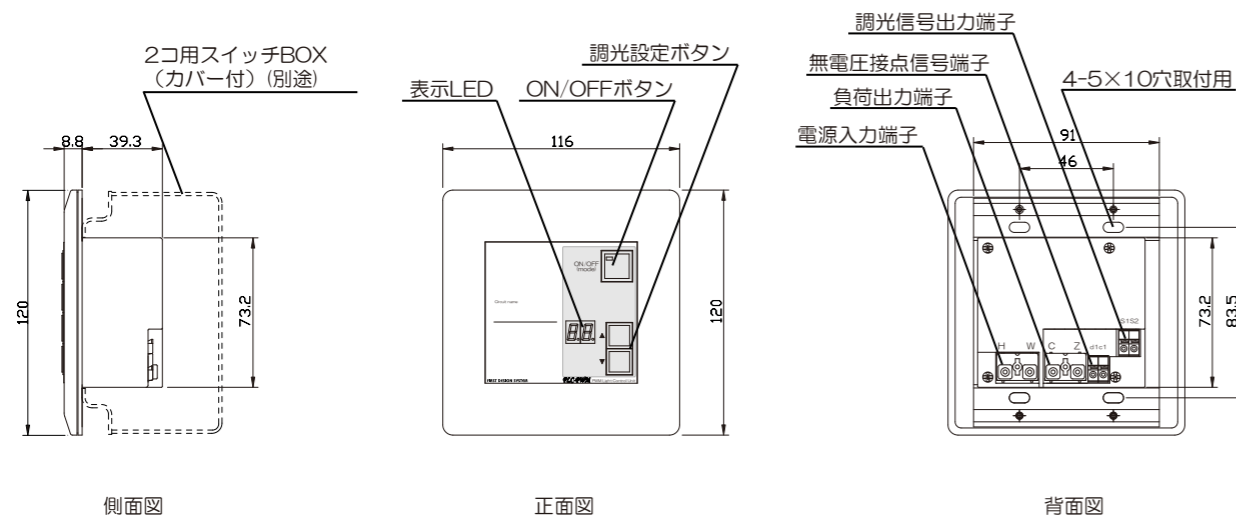


FLC-1500Hf 取扱説明書

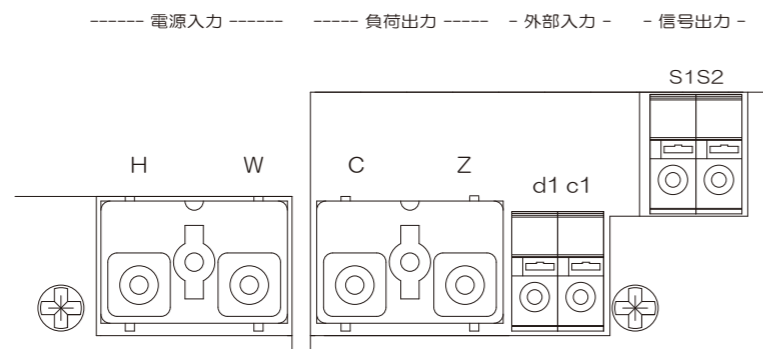
保管用

◎機器の設置施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず専門業者にご相談ください。
工事店様へ、この安全確認シートは保守のためお客様に必ずお渡しください。

外観仕様



端子仕様



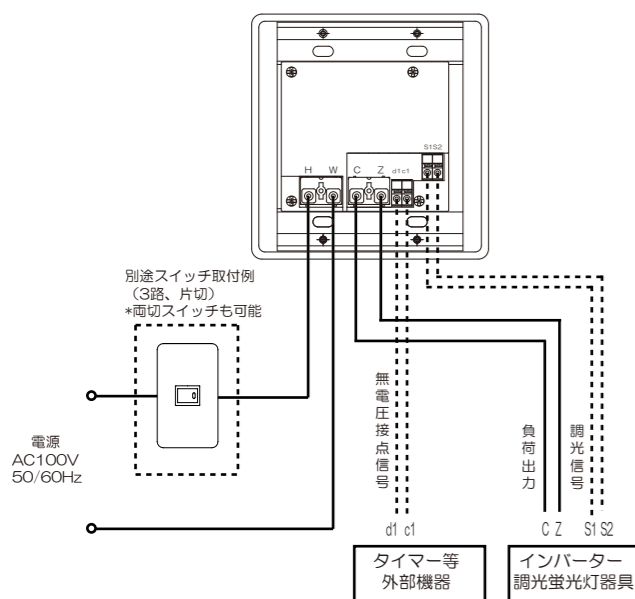
結線方法

- 電源及び出力端子はφ1.6またはφ2.0銅単線専用の差込端子です。
- 外部入力信号はCPEV線を使用してください。

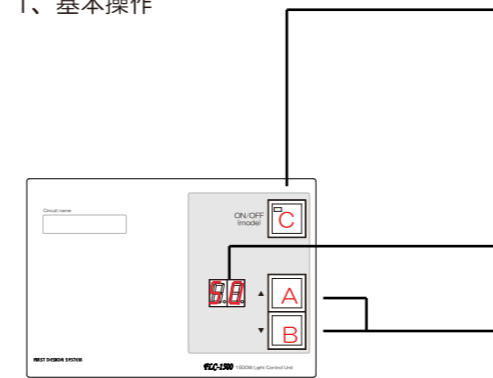
- 注1) 調光信号はDC10Vのデューティ式パルス信号です。調光信号線と電源線は離して配線してください。
- 注2) 調光信号は短絡しないでください。破損することがありますのでご注意ください。
- 注3) 20%以下の調光ではランプ間の輝度差が生じる場合があります。
- 注4) インバーター調光器を送りで連結させて使用する場合は、安定器32台までにしてください。
- 注5) 本調光器はデューティ制御式連続調光用インバータ照明器具専用です。白熱灯や銅鉄型3線式の蛍光灯器具などは接続できません。
- 注6) ON/OFFボタンは調光レベルの出力により動作します。電源自体の入/切をしたい場合には、別途スイッチを用意して、左図のように電源入力端子の一次側に接続してください。
- 注7) 外部からの信号により動作させる場合は、Bシーンがその対象となります。信号が入力されている間は、Bシーンを再生し、解除されると、信号入力前に再生していたシーンに戻ります。(下図参照) 信号入力時であっても、Bシーンは調光レベルの変更が可能です。(信号入力時にはAシーンの再生及び調光レベルの設定は不可) ※信号入力によるBシーン再生時はON/OFFボタンのパイロットランプは点滅します。

例)

現状	信号ON時	信号OFF時
Aシーン	→ Bシーン	→ Aシーン
Bシーン	→ Bシーン	→ Bシーン

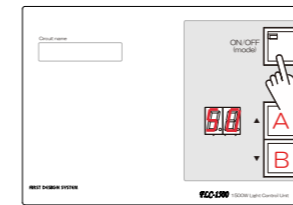


1、基本操作

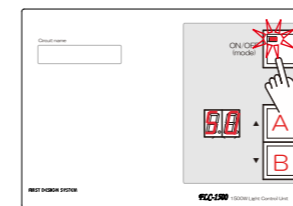


- ON(A)/OFF(B)ボタン
一度押すと設定レベル(Aシーン)、もう一度押すと消灯(Bシーン)を再生します。(Bシーンの調光レベルも設定が可能)
- モード切替ボタン
3秒以上押すとフェード時間設定モードが起動します
- 表示部
調光レベルやフェード時間を表示します。
- 設定ボタン
調光レベルやフェード時間を設定します。

2、調光レベル設定



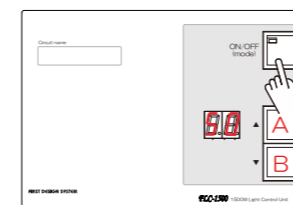
- a. 調光レベル設定(Aシーン)
Cキーを押してCキーのランプを消灯します。AキーとBキーで、表示部の調光レベルを変更します。表示部は0~FF(100%)で表示されます。操作後5秒すると調光レベルが記憶されます。5秒以内にキーを押してしまうと記憶されません。



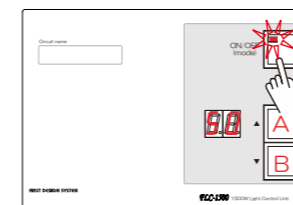
- b. 調光レベル設定(Bシーン)
Cキーを押してCキーのランプを点灯させます。**Aキー(Bキー)を5秒以上、長押しすると設定モードに入ります。**(上記設定後、1分以上キー操作をしないと設定モードは解除されます。) AキーとBキーで、表示部の調光レベルを変更します。表示部は0~FF(100%)で表示されます。操作後5秒すると調光レベルが記憶されます。5秒以内にキーを押してしまうと記憶されません。

※注意 本機に給電している電源を一度オフにした場合
オン時にはオフ時に再生されていたシーンを呼び出します。
(常にAシーンが優先して呼ばれるわけではありません。)

3、フェード時間設定



- a. フェード時間設定(Aシーン)
Aシーンの再生時にCキーを長押しします。表示部「A」になります。AキーとBキーで、表示部のレベルを変更します。A0~A9に設定可能です。A0はフェード時間0秒です。A9はフェード時間9秒です。もう一度Cキーを押すとシーン再生に戻ります。BシーンからAシーンに変わる時のフェード時間が変わります。



- b. フェード時間設定(Bシーン)
Bシーンの再生時にCキーを長押しします。表示部「B」になります。AキーとBキーで、表示部のレベルを変更します。B0~B9に設定可能です。B0はフェード時間0秒です。B9はフェード時間9秒です。もう一度Cキーを押すとシーン再生に戻ります。AシーンからBシーンに変わる時のフェード時間が変わります。